



特定非営利活動法人浦和スポーツクラブ

2005年度社員総会

1. 2004年度事業報告	(採決事項①)	1
2. 2004年度決算報告	(採決事項②)	6
3. 2005年度事業計画(案)	(採決事項③)	11
4. 2005年度予算(案)	(採決事項④)	21
5. 理事改選	(採決事項⑤)	24
6. 理事長専決事項について	(採決事項⑥)	26

日時：2005年5月29日(日)
午後3時～

場所：With You(男女共同参画推進センター)
(プリランテ武蔵野内) セミナー室5

1 . 2004 年度事業報告：採決事項

月	会議・事業等	プログラム
4	07 NPO法人登記 クラブ事務所開設 24 理事会準備会	<ul style="list-style-type: none"> サッカー（広場、U-15、U-18、選手、生涯）継続実施 U-18 日本CY関東予選
5	22 理事会準備会	<ul style="list-style-type: none"> U-18 彩の国カップ
6	日体協育成事業受託（指定） 19 第1回理事会 27 社員総会	
7	31 第2回理事会	<ul style="list-style-type: none"> U-18 KCYリーグ
8	28 第3回理事会	07 第1回浦和スポーツ塾（暑熱対策）
9	25 理事会準備会	<ul style="list-style-type: none"> U-18 KCY2次リーグ
10	24 第4回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ヨガ開始 キッズテニス開始 レディスフットサル開始
11		<ul style="list-style-type: none"> ヨガ1コース追加 選手 県3部昇格決定 27 第2回浦和スポーツ塾（リハビリ）
12	26 第5回理事会	<ul style="list-style-type: none"> U-15 県CY新人戦
1	29 第6回理事会	
2		<ul style="list-style-type: none"> 選手 県南部選手権優勝 13 第3回浦和スポーツ塾（栄養摂取）
3	05 第7回理事会	<ul style="list-style-type: none"> 生涯 05年度さいたま市民リーグ 選手 05年度県3部リーグ ヨガ土曜日コース開始
4	02 第8回理事会（延期分）	<ul style="list-style-type: none"> U-18 日本CY関東予選 U-15 日本CY県予選

* 各欄の左端の数値は 日付を表す

(総論)

04年度は、NPO法人として新たにスタートした年であり、これまでの活動の足元を固めるとともに、クラブのミッションに基づき、地域にむけた活動を開始していく姿勢を示していくことを活動目標にしました。

日体協の地域SC育成事業の指定を受けたことで、多種目展開の資金が用意でき、キッズテニスやヨガを始めることができました。クラブ会員層が広がり、地域の女性層の会員が増加したことは、今後の地域SCの展開にむけて新たな可能性が得られたものと思います。

しかし、これらのプログラムも含めて、既存のサッカー部門も、活動場所の確保は極めて不安定な状態のままです。特に、新規事業として予定した陸上競技が施設管理者との調整がつかず開催延期となるなど、行政機関も含めた既存の組織との連携には大きな課題が残りました。

(年度当初事業計画と成果)

04年度当初事業計画	成果
(1) サッカーの普及・育成・振興 1) 普及事業 サッカー広場の開催 月曜広場 15時～19時 駒場サブグラウンド 臨時広場 木曜日(月3回程度) 15時～17時 その他 ・次年度以後のサッカー広場の継続的開催及び、木曜の臨時広場の安定化にむけた活動 ・広場の経験をもとにしたキッズプログラムの作成	約40回実施。会員数は約300名 約40回実施。会員数は約200名 活動方針が安定せず準備不足、元気がなくなってきたとの指摘がでた。 05年の継続は承認された 木曜日は承認されず プログラムは未着手
2) 育成事業 小6スクール：10月頃から開始を目標 U-15 ・毎週の定期的な練習(火・水・金・土・日) ・埼玉県クラブユース連盟(U-15)準加盟 ・R&Tリーグの開催(巻末資料参照) U-18 ・毎週の定期的な練習(火・水・金・土・日) ・関東クラブユース連盟(U-18)加盟 ・市民大会への参加 一般(選手) ・さいたま市民浦和サッカーリーグ(2部)参加 ・埼玉県サッカー協会社会人連盟加盟	スクールは会場確保できず未実施 U-15 定期的な練習は実施できた 準加盟。新人戦に参加 RTリーグは未実施 (カップ戦を1日のみ実施) U-18 土日はほとんど練習に来ない 秋には、KCY2次まで進出 市民大会は人数不足により不参加 一般(選手) 県ブロック浦和地区予選優勝 県南部予選優勝(県3部昇格) 彩の国カップ南部地区予選優勝 " 地区選手権決勝大会3位
3) 振興事業 生涯コース ・市民リーグけやきリーグに参加(比較的若手) ・市民リーグシニアリーグに参加(35歳以上) ・毎週土日の練習(平日開催を望む声もある) 審判・指導者の養成	けやき2位 やや人数が不安定 平日開催はしていない 4級審判取得 4名

04年度当初事業計画	成果
<p>(2) サッカー以外の普及・振興</p> <p>1) 陸上競技・ウォーキング：ランニング ・ 9月頃より試行検討</p> <p>2) テニス ・ 駒場体育館におけるミニテニスの実施を検討</p> <p>3) ヨガ・ステップ体操 ・ 駒場体育館等での実施を検討</p> <p>4) 講習会 ・ スポーツ関連の勉強会の定期開催</p> <p>5) そのほか 会議・講演等への参加 そのほか</p>	<p>陸上：10月開催準備も施設管理者と調整つかず未実施 キッズテニス（木曜日48名）を10月から開始 ヨガ（木曜日1クラス50名）を10月から開始、好評により11月から1クラス追加 浦和スポーツ塾3回実施</p> <p>会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ さいたま市総合型地域スポーツクラブ連絡会 講演等（主に事例報告） ・ 東京都スポーツクラブづくりシンポジウムパネラー（7月） ・ 群馬県CM講習会講師（8月） ・ SSFネットワークミーティングパネラー（1月） ・ 埼玉県体協指導者講習会パネラー（2月） ・ 群馬県スポーツシンポジウム講師（3月） <p>レディスフットサル開始（10月）</p>
<p>(3) クラブ事業</p> <p>1) 広報活動 クラブニュースの発行 HPの運営</p> <p>2) その他 施設確保のための検討 総合型SC検討会 地域社会貢献活動</p>	<p>浦和SCニュース vol.39～50発行 HP 年間ヒット数20,000件ほど 更新作業は進まず</p> <p>施設確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北小：良好な関係になりつつある ・ 浦高：非公式のまま。どちらかという悪化傾向 ・ 駒場体育館：理解進まず ・ ルーテル学院：交渉中（よい方向） <p>総合型SC検討 組織について検討中 地域社会貢献活動：海外への寄付について一部話が始まる</p>

(サッカーの普及・育成・振興)

- ・活動が盛んになり、人が増えることで、会員のニーズも多様化してきました。
- ・クラブとして、それぞれのコースの活動理念・運営方針を確認することが必要になりました。
- ・広場は指導者が安定しないことで、考え方が徹底せず、質の低下を指摘する意見も出ていました。
- ・U-15 は、1年生 12 名をむかえ、活性化してきましたが、RTリーグが実施できませんでした。
- ・U-18 では、KCY リーグで 2 次予選まで初めて進出しましたが、直後の市民大会には不参加になるなど、活動は不安定なままでした。
- ・選手は、念願の県 3 部昇格を果たしました。
- ・生涯コースでは、練習のあり方、リーグ戦への参加などについて、会員の中で意識の違いが顕著になってきました。今後は、怪我やトラブルを防止し、楽しく活動を続けてもらうために、体力・技量に応じてミニゲームを分けて行うなど、きめ細かなフォローが必要であると思われました。
- ・レディスフットサル事業を、年度途中で開始しました。地域性(大宮中央デパート)の問題もあり、PRが不十分で人数が事業採算ベースに達していません。

(サッカー以外)

- ・キッズテニスが 10 月から始まり、概ね良好な状態で継続できています。
- ・ヨガを 10 月から開始しました。1 クラス 50 名のところ 2 倍以上の応募があり、急遽 2 クラス制に移行しました(各 50 名)。さらに、3 月から土曜日クラスを増設しました。
- ・浦和スポーツ塾は、3 回実施し、受講者には大変好評を得ています。しかし、周辺の少年団や中学、高校の指導者などの参加がほとんどないことが残念です。
- ・シルバー層の参加を期待したウォーキング・ジョギングのコースが開始できませんでした。

(クラブ事業)

- ・ホームページのデザイン変更、特にサッカー以外のプログラムの情報発信ができていません。
- ・施設の安定確保にむけ、学校およびその他の公共施設管理者への、地域スポーツクラブに関する啓発、PRを進めることが課題となりました。
- ・クラブ会員数は約 800 名弱まで増加しましたが、まだ多くの会員の方にも、地域クラブの認識は高まっていないものと思われまます。クラブライフを楽しめる環境(交流拠点の確保や、交流の機会をもつイベントの開催など)づくりをさらに進める必要があります。
- ・プロジェクト制を提唱しましたが、担当の割り振りにいならず、機能しませんでした。今後の事業展開の方法について検討課題となりました。

(その他)

- ・事務局のアルバイトさんに負荷が高まり、事務処理がおいつかない状況がなんどもありました。
- ・事務作業以外の、クラブとしての対外的な説明などまでも、結果的に担っていただいてしまい、精神的な負荷を高めてしまいました。

(参考/2004年度7月～3月におけるクラブ会員数)

		2004/7/31	2004/8/25	2004/10/22	2004/12/20	2005/1/27	2005/3/4
正会員		38	41	41	42	42	42
賛助会員	個人	10	16	17	17	14	14
	法人	5	7	7	7	13	13
ジュニアユース	1年	12	12	12	12	10	10
	2年	5	5	6	6	6	6
	3年	7	7	6	6	6	6
ユース	1年	4	4	3	7	7	7
	2年	6	6	6	7	7	8
	3年	11	11	11	11	7	7
選手	23以下	20	19	10	10	16	9
	23以上			9	9		7
けやき	23以下	22	23	3	24	24	24
	23以上			18			
シニア		24	24	24	24	24	24
ビジター(個人賛助と重複)				12	12	10	10
月曜サッカー広場		311	314	299	304	306	294
木曜サッカー広場		196	195	187	203	203	202
キッズテニス		-	-	45	46	46	46
ヨガ		-	-	50	100	100	95
レディスフットサル		-	-	9	16	19	20
クラブ会員合計		671	684	698	785	781	765

*クラブ会員数には、正会員を含んでいる

スポーツ広場の状況(3/4)

		サッカー広場			キッズテニス		ハリウッドヨガ	
		月曜会員	木曜会員	キャンセル待ち	会員	キャンセル待ち	会員	キャンセル待ち
幼稚園生	年中	37	36	48	8	4	-	-
	年長	36	36	42	8	5	-	-
小学生	1年(前半)	24	27	20	8	4	-	-
	1年(後半)	28	14		8	4	-	-
	2年	28	41	14	14	0	-	-
	3年	29	9	6	-	-	-	-
	4年	33	40	5	-	-	-	-
	5年	38	-	1	-	-	-	-
	6年	47	-	0	-	-	-	-
	女子	6	-	0	-	-	-	-
大人			-	-	-	-	100	43
計		306	203	136	46	17		

2 . 2004 年度決算報告 (2004 年 4 月 1 日 ~ 2005 年 3 月 31 日): 採決事項

平成 1 6 年度特定非営利活動に係る事業 会計収支計算書
(平成 1 6 年 4 月 1 日から平成 1 7 年 3 月 3 1 日まで)

特定非営利活動法人浦和スポーツクラブ
単位: 円

科 目	金 額		
I 収入の部			
1 会費、入会金収入			
正会員会費	¥ 410,000		
〃 入会金	¥ 78,000		
賛助会員会費 (個人)	¥ 190,000		
賛助会員会費 (法人)	¥ 280,000	¥ 958,000	
2 事業収入			
普及事業 (サッカー)	¥ 9,811,680		
育成事業 (サッカー)	¥ 3,658,500		
生涯振興 (サッカー)	¥ 4,017,370		
総合型展開事業	¥ 1,955,300	¥ 19,442,850	
3 補助金等収入	¥ 2,280,000	¥ 2,280,000	
4 雑収入	¥ 164,564	¥ 164,564	
当期収入合計 (A)			¥ 22,845,414
前期繰越収支差額			¥ 2,105,402
収入合計 (B)			¥ 24,950,816
II 支出の部			
1 事業費			
普及事業 (サッカー)	¥ 6,458,645		
育成事業 (サッカー)	¥ 5,253,960		
生涯振興 (サッカー)	¥ 1,219,883		
総合型展開事業	¥ 2,366,589	¥ 15,299,077	
2 管理費			
事務人件費	¥ 1,281,800		
通信・役務費	¥ 1,220,774		
印刷・事務消耗品	¥ 658,899		
施設・車両費	¥ 1,621,172		
その他	¥ 544,053	¥ 5,326,698	
当期支出合計 (C)			¥ 20,625,775
当期収支差額 (A) - (C)			¥ 2,219,639
次期繰越収支差額 (B) -			¥ 4,325,041

(参考：予算との比較)

科 目	金 額		
	予算	決算	比較
I 収入の部			
1 会費、入会金収入			
正会員会費収入	¥ 450,000	¥ 410,000	¥ -40,000
〃 入会金収入	¥ 90,000	¥ 78,000	¥ -12,000
賛助会員（個人）	¥ 150,000	¥ 190,000	¥ 40,000
賛助会費（法人）	¥ 300,000	¥ 280,000	¥ -20,000
2 事業収入			
普及事業（サッカー）	¥ 10,338,200	¥ 9,811,680	¥ -526,520
育成事業（サッカー）	¥ 4,092,000	¥ 3,658,500	¥ -433,500
生涯振興（サッカー）	¥ 3,672,000	¥ 4,017,370	¥ 345,370
総合型展開事業	¥ 1,200,000	¥ 1,955,300	¥ 755,300
3 助成・賛助			
助成金	¥ 1,560,000	¥ 2,280,000	¥ 720,000
4 雑収入			
雑費	¥ 110,000	¥ 164,564	¥ 54,564
当期収入合計（A）	¥ 21,962,200	¥ 22,845,414	¥ 883,214
前期繰越残高	¥ 2,105,402	¥ 2,105,402	¥ -
収入合計（B）	¥ 24,067,602	¥ 24,950,816	¥ 883,214
II 支出の部			
1 事業費			
普及事業（サッカー）	¥ 6,521,400	¥ 6,458,645	¥ -62,755
育成事業（サッカー）	¥ 5,653,500	¥ 5,253,960	¥ -399,540
生涯振興（サッカー）	¥ 1,477,500	¥ 1,219,883	¥ -257,617
総合型展開事業	¥ 1,841,200	¥ 2,366,589	¥ 525,389
2 管理費			
事務人件費	¥ 1,228,800	¥ 1,281,800	¥ 53,000
通信・役務費	¥ 1,127,920	¥ 1,220,774	¥ 92,854
印刷・事務消耗品	¥ 800,000	¥ 658,899	¥ -141,101
施設・車両費	¥ 1,772,000	¥ 1,621,172	¥ -150,828
その他	¥ 706,000	¥ 544,053	¥ -161,947
3 予備費			
当期支出合計（C）	¥ 21,128,320	¥ 20,625,775	¥ -502,545
当期収支差額（A）－（C）	¥ 833,880	¥ 2,219,639	¥ 1,385,759
次期繰越収支差額（B）－	¥ 2,939,282	¥ 4,325,041	¥ 1,385,759

(参考事業部門収支)

	直接収支	管理費按分	部門収支
普及事業（サッカー）	¥ 3,353,035	¥ 3,546,365	¥ -193,330
育成事業（サッカー）	¥ -1,595,460	¥ 285,997	¥ -1,881,457
生涯振興（サッカー）	¥ 2,797,487	¥ 343,197	¥ 2,454,290
総合型展開事業	¥ -411,289	¥ 1,151,139	¥ -1,562,428

*管理費は、クラブ会員数で按分した

平成16年度特定非営利活動に係る事業 会計財産目録
平成17年3月31日(現在)

特定非営利活動法人浦和スポーツクラブ
単位：円

科 目	数量	金 額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金 現金手許有高		¥ 85,640	
普通預貯金 埼玉りそな銀行北浦和		¥ 676,254	
城北信用金庫北浦和支		¥ 80,270	
郵便貯金		¥ 568,874	
郵便振替口座		¥ 1,983,370	
定期貯金 郵便局		¥ 2,100,045	
未収金 16年度分会費		¥ 408,868	
体協補助金		¥ 1,140,000	
前払い保険料		¥ 639,180	
流動資産合計			¥ 7,682,501
2 固定資産			
敷金		¥ 165,000	
電話加入権	1件	¥ 76,440	
車両	1台	¥ 983,044	
固定資産合計			¥ 1,224,484
資産合計			¥ 8,906,985
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金 職員に対する源泉税		¥ 11,310	
前受け金 17年度分会費		¥ 2,435,260	
未払い家賃		¥ 75,000	
未払い謝金		¥ 835,890	
流動負債合計			¥ 3,357,460
2 固定負債			
固定負債合計			¥ -
負債合計			¥ 3,357,460
正味財産			¥ 5,549,525

平成16年度特定非営利活動に係る事業 会計貸借対照表
平成17年3月31日

特定非営利活動法人浦和スポーツクラブ
単位：円

科 目	数量	金 額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金及び預金		¥ 5,494,453	
未収会費 16年度分		¥ 408,868	
助成金等		¥ 1,140,000	
前払い保険料		¥ 639,180	
流動資産合計			¥ 7,682,501
2 固定資産			
敷金 クラブハウス		¥ 165,000	
電話加入権	1 件	¥ 76,440	
車両 (ハイエース)	1 台	¥ 983,044	
固定資産合計			¥ 1,224,484
資産合計			¥ 8,906,985
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金 職員に対する源泉税		¥ 11,310	
前受け金 2005年度分会費		¥ 2,435,260	
未払い家賃		¥ 75,000	
未払い謝金		¥ 835,890	
流動負債合計			¥ 3,357,460
2 固定負債			
固定負債合計			¥ -
負債合計			¥ 3,357,460
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産			¥ 3,654,561
当期正味財産増加額			¥ 1,894,964
正味財産合計			¥ 5,549,525

監 査 報 告 書

平成17年5月27日

NPO法人浦和スポーツクラブ
理事長 倉持 守三郎 殿

監事 三戸 一嘉 ⑩

監事 宮原 正弘 ⑩

特定非営利活動法人浦和スポーツクラブの平成16年4月1日から平成17年3月31日までの平成16年度の理事の業務執行状況、及び、事業報告書、財産目録、貸借対照表ならびに収支計算書(以下、事業報告書等)について、監査を実施した。

我々の監査の結果は、以下のとおりである。

- 1) 理事の業務執行に関し、不正な行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められなかった。
- 2) 上記の事業報告書等が、非営利活動法人浦和スポーツクラブの平成17年3月31日現在の財産状況及び同日をもって終了する事業年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

3 . 2005 年度事業計画 (案): 採決事項

(1) 総論

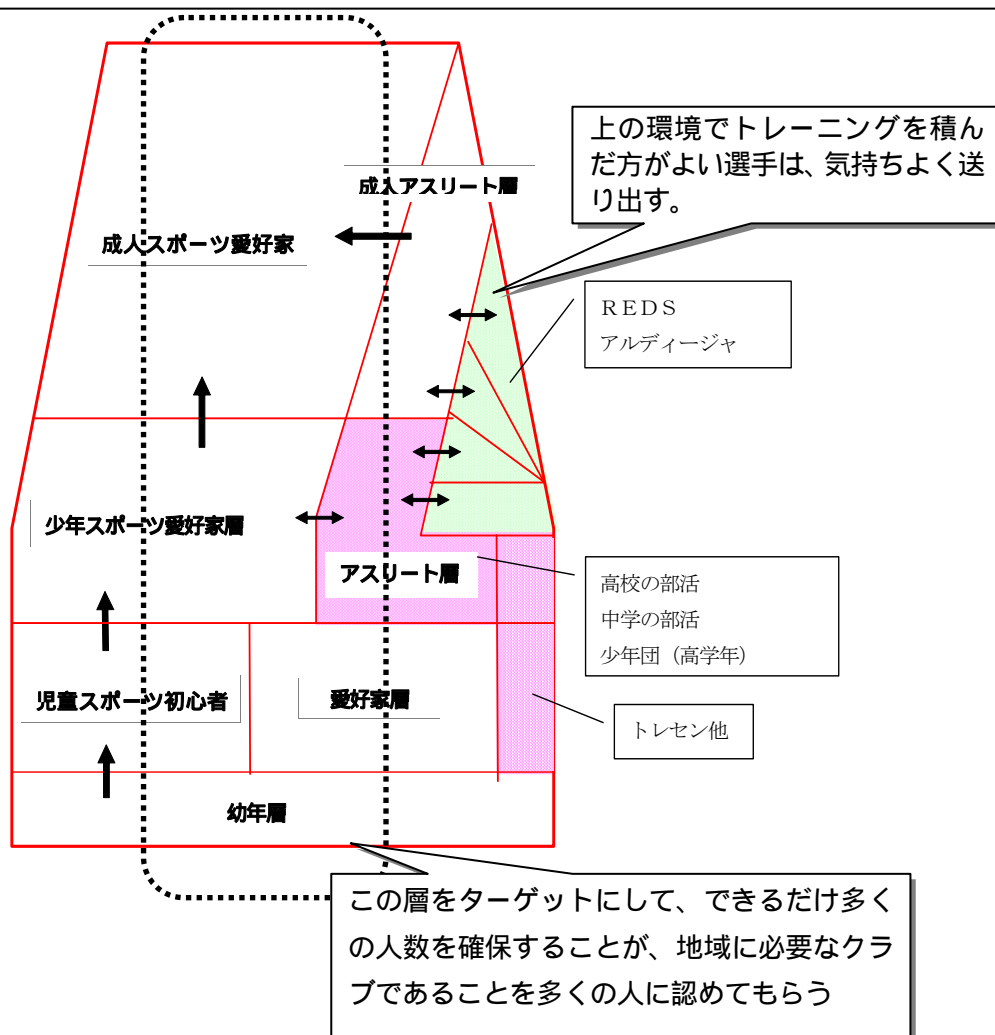
本年度は、NPO法人として2年目をむかえます。また、日本体育協会の総合型地域スポーツクラブ育成支援事業の指定クラブとしても2年目をむかえ、総合型地域スポーツクラブとしての自立を求められています。

クラブが地域の中で必要なものとなるために、クラブがどうあるべきか、当面のクラブの目指す方向を、次のように決めました。

指定管理者制度の導入などにより、公共施設の利用において不利を受けない(これまでの活動を続けられる/具体的には、たとえば、広場の廃止を防ぐ)ようにするためには、地域における認知度・信頼感を高めて、必要な団体であると支持してもらえようとする。

例えば、サッカー分野で考えると、少年団、中学校、高校などの活動が盛んで、レッズ、アルディージャといったトップチームがある中で、浦スポがターゲットとするマーケットをしっかりと見据える。

地域のスポーツ環境を見据え、2を目指すのではなく、オンリーワン(浦スポ独自)を目指すことで、地域でのポジションを確立する。すなわち、他の団体・組織との単なる競合は避け(会員の奪い合いなど)、地域のスポーツ人口を増やすことにターゲットをあてる。



(2) プログラム事業

スポーツプログラム

部門	コース	概要
サッカー	広場	幼稚園生～小学6年生を対象に、サッカーで遊ぼうを合い言葉に、週1回1時間、ミニゲームを中心に活動。
	スクール	小5～6を対象。週1回実施。
	ユース	中学生(U-15)、高校生(U-18)を対象として、チームとしての勝敗にとらわれず、個々の育成を図ることを目的とした活動。
	選手	県リーグでの活動継続を目標に活動。 2005年度は、県3部(南部地区)に参戦。 18歳以上の学生と社会人が参加。
	生涯	生涯スポーツとして楽しみながらサッカーを続けることを目的に活動。年齢制限なし。中高生でも参加可。
	レディスフットサル	中学生以上の女性を対象に、フットサルの普及と生涯スポーツの場の提供を目的に活動。現在、中学生～主婦までが参加。
テニス	キッズテニス	幼稚園年長～小学校2年生を対象に、体育館で行うミニテニス。
	インドアテニス	キッズテニスから継続して行う活動として、2005年度は小学校3年生を対象に予定。当面は施設対応が図れないため、3年生対象に、これまでとおりミニテニスを実施
フィットネス	音楽にあわせたヨガ	「ココロ、カラダきれいに」を合い言葉に、ヨガよりもリズムカルに、エアロビクスよりもゆっくりとしたフィットネスプログラム。
陸上	ランニング&ウォーキング	駒場スタジアム陸上競技場を拠点とした活動を計画中。ステップ運動との組み合わせなどで計画。開始時期未定。
キンダーコーディネーション		遊びをとおして、総合的に運動能力を高めるトレーニング。順天堂大学東根助教授の協力により実施。

その他

事業名		概要	
地域 貢献	浦和スポーツ塾	各界のスペシャリストをお呼びし、地域のスポーツ関係者にむけた講演会などを開催。	
	遊び広場 (子ども 居場所)	レクリエーション	文科省子どもの居場所づくりプロジェクト「地域子ども教室事業」として実施(予定)。レクリエーションを中心に実施。浦和大学協力。
		サッカー	スクールの実施とあわせて、スクール前の時間を利用。小学生の遊び場の運営。北浦和小地域こども教室に協力。
	チャリティ	開発途上国へのスポーツ用品(中古)の提供などを実施。	
クラブライフ魅力アップ事業		クラブ会員が楽しみながら交流できる各種イベントなどを実施	

2005年度 クラブ会員会費

	対象	曜日(予定)	時間(予定)	月会費(予定)	活動場所他	
サッカー	月曜広場	年中・年長	月	15時～16時	1,800円	駒場サブグラウンド 木曜広場は月に1回 程度駒場体育館
		小1・小2	〃	16時～17時	1,600円	
		小3・小4	〃	17時～18時	1,600円	
		小5・小6	〃	18時～19時	1,600円	
	木曜広場	年中・年長	木	15時～16時	1,800円	最初に2,800円
		小1・小2	〃	16時～17時	1,600円	
	スクール	小5・小6	未定	未定	未定	準備中
ユース	中学生 高校生	火・水・金 土・日	2時間程度	6,000円	ユニ代約16,000円	
選手 生涯	全ての年代	水・土・日	2時間程度	U-23 5,000円	県社会人リーグ3部 市民リーグ他	
	全ての年代	土・日	2時間程度	一般7,000円		
レディス フットサル	中学生以上	木	18:30～19:45	2,500円	大宮中央デパート屋 上	
	高校生以上	〃	19:45～21:00	2,500円		
テニス	キッズ	年長・小1	水	17時～18時	2,500円	駒場体育館他
		小1・小2	〃	18時～19時	2,500円	
		年長	木	15時～16時	2,500円	
		小1・小2	〃	16時～17時	2,500円	
インドア	小3	〃	17時～19時	2,500円		
音楽にあわせた ヨガ	全ての年代	水	10時～11時	1,500円	駒場体育館他 最初に1,500円	
		木	10時～11時	1,500円		
			11:30～12:30	1,500円		
		土	16時～17時	1,500円	南箇公民館他	
キндガー・コーデ イネーション	年中・年長	金	16時～17時	1,800円	駒場体育館	
	小学生	〃	17時～18時			
陸上・ランニン グ・ウォーキング	全ての年代	未定	未定	未定	準備中	

<活動日程(予定)>

部門	コース	月	火	水	木	金	土	日
サッカー	広場	15～19 駒サブ			15～17 駒サブ			
	スクール				未定			
	ユース		18～20 北小	19～21 浦高		☆ 駒体 常北小	☆	☆
	選手			19～21 田島中			☆	☆
	生涯						☆	☆
	レディス フットサル					18～21 中央デ		
テニス	キッズ			17～19 駒体	15～17 駒体			
	インドア				17～19 駒体			
音楽に合わせたヨガ				10～11 駒体	10～12 駒体		16～17 南箇他	
キンダー コーディネーション						16～18 駒体		
子ども 教室	サッカー				未定			
	レク			夕方 **				
陸上	ステップ							
	ウォーキング ・ジョギング							

*ハッチ部は、5月時点で未調整のもの

<各プログラムの位置づけについて>

		サッカー	テニス	フィットネス		種別	地域貢献
幼児 児童	いろいろな遊び、 スポーツを通して心や体を育てる場	キンダー コーディネーション				普及 事業	-
児童	好みの種目を通して、心と体の健康を保つ場	広場	キッズ	-	-		居場所
生徒 学生 成人	競技力の向上を目指す場	スクール	インドア	-	-	育成 事業	
生涯	好みの種目を通して、心と体の健康を保つ場	ユース 選手	-	ヨガ	ジョギング ステップ		
全体	クラブ会員の交流により豊かな心を育てる場	魅力アップ事業・交流事業・地域貢献事業 ・イベント/チャリティ/浦スポ塾				クラブライフ 事業	

【幼稚園～小学生】

「子どもの運動能力の向上と、遊び場の提供という、現在の社会で最も求められている場を提供する」

サッカー広場

- ・月曜日の広場の継続
- ・指導者は必ず運営会議で了解を得てから参加

(サッカー+)広場

- ・木曜日は、これまでとおり月3回程度しか確保ができない可能性が高い
- ・体育館での広場もプログラムに入れることにして、毎週の活動にする。

指導者は、学生（指導者や教職を目指すもの）を中心に調整。

サッカースクール

- ・（5～）6年生のみを対象として、技術向上のニーズに対応。
- ・「遊びの場」としての広場の趣旨を保つために、スクールの場を別枠で開催

キッズテニス

- ・体育館で行うミニテニス、テニスに親しむ機会を提供。幼稚園～小2
- ・上につなげるための基礎を指導
- ・サッカー以外のスポーツの場の提供

インドアテニス

- ・小学校3年生以上を対象に、一般のテニスにつなげる場を提供する。
(本来は、フルコートでやりたいが、施設の問題から当面はミニ)

コーディネーショントレーニング

- ・サッカーやテニスが苦手な子、運動が苦手な子でも、体を動かすことが嫌いとは言えない。
- ・特定の種目によらず、遊び的な要素を通して総合的な運動能力を高める場を提供する。

居場所づくり(地域子ども教室)

- ・公共施設を借りてプログラムを展開しているNPOとして、会費を支払わなければ外で遊ぶ場がないという社会環境を変えていくことが必要。
- ・誰でもそこにくれば遊べる場を提供する。
- ・文部科学省地域子ども教室推進事業の指定を受け、浦和大学植屋教授の協力の下、浦和大学の学生を中心に実施予定(会員、保護者、地域の住民からボランティアを募る)

【中学生～高校生】

サッカー/ユース

「18歳をひとつのゴールに設定。関東リーグ1部を目指す」

- ・2学年ごと(U-14、U-16、U-18)の指導・活動体制を目指す
- ・カテゴリごとの試合参加を目指す
 - ・U-14:地域リーグの開催(運営)を目指す
 - ・U-16:県2種U-16リーグへの参加を目指す
 - ・U-18:関東ユースリーグに参加する
- ・個人の育成&一貫指導を売りにする

【一般】

サッカー/選手

- ・位置づけ
 - ・U-18を出た子のうち、地元で続けたい子たちの活動の場
 - ・クラブとして、上(J)を目指すものではない。
 - ・県リーグでの活動
- ・指導と運営
 - ・外部から指導者を招聘するような性格のものではなく、監督は、ボランティアでやってくれる方(多少の謝金はある)をさがしていく
 - ・運営も、基本的には通常の会費の中で行える範囲のものとする
 - ・自主運営を基本とし、費用をかけてマネージャー等を用意することはしない

サッカー / 生涯

・位置づけ

- ・楽しみでサッカーを続ける場とする
- ・中学生、高校生のうち、遊びで続けたい子は受け入れる

・サービスの向上

- ・当面はけやきリーグ参加。若手の4部参加については、将来的に検討
- ・練習時には、体力と志向にあわせてメンバーを分けるなど、工夫をして、怪我やつまらないトラブルをなくす。(現場で分けることで可) / 怪我の予防、雰囲気維持
- ・親善試合など、楽しみで行える試合等を増やす
- ・公式戦の開催日であっても、練習をなるべく設ける(試合時間が短い)

・理念の徹底

- ・けやきとシニアは、あくまで全員出場。体力には応じるが、公平に参加することが原則。
- ・勝ち負けで文句を言うようであれば、登録しない
- ・審判、会場当番も公平に分担
- ・監督は、各チームの中で会員が担当する。指導者は技術的なアドバイスを行う。

レディスフットサル

・位置づけ

- ・中学生以上の女性が楽しみで球を蹴ることができる場とする
- ・当面は、クラブとしてチーム運営などを行う予定はない。

ヨガ

・位置づけ

- ・スポーツが苦手な方でも健康づくりに取り組めるプログラムの提供
- ・主に、地域の母親層のネットワークを広げる効果を期待

【スポーツプログラム全体として】

・クラブとしての方針の明確化(広場~シニアまで、指導者から会員まで)と徹底

- ・「指導者が試合に勝つため、うまい子を育てるために場を提供するわけではないこと」「指導者のためにスポーツがあるのではない」ことを徹底。
- ・いじめ、体罰、誹謗、中傷等は毅然とした態度でのぞむ(仮にうまい子であっても特別扱いしない/特に、子ども達がミニゲームの結果によって、的当てなどの罰則を行っていることがあるが、罰ゲーム的なものは認めない)。

サッカーユースコースにおける育成の考え方

浦和スポーツクラブでは、サッカーユースコースにおいて、次のような考え方で指導・育成を行います。

(1) 18歳のゴールを目指した6年間の一貫指導

ユースコースは大人のプレーヤーへの準備の時期と考え、18歳の時点での達成を目指して、一貫した方針のもと、中学・高校の6年間をかけて計画的に指導します。

(2) 子ども達の個性を大切にした指導

特定のチームカラーに固めることなく、子どもたちの持つ個性を尊重しながら、将来どのようなチームに入っても通用するような、サッカーの本質を理解した「個人」を育成します。その中で、ゲームのある局面では、チームのために「個」を犠牲にすることの重要性も理解することになります。

(3) 試合の勝利は必ずしも最終目標ではない

長期的な視野でプレーヤーを育成すると、ある段階では、大会などの試合で好成績をあげられないかも知れません。しかし、試合に勝つために、育成過程に合わないパワーアップの練習をしたり、負けない試合運びを強制したり、特定のメンバーだけで試合に臨むようなことはせず、18歳の全員ゴールを目指して確実に指導・育成を行います。

(4) サッカーを通じての人格形成

18歳までの時期は、子ども達が人格形成をしていく上での重要な時期です。浦和スポーツクラブでは、サッカーによるコーチや仲間、相手チームあるいは生涯コースなど他コースのメンバーの交流を通じて、個人および組織人としての人格形成にも心がけます。

浦和スポーツクラブ・サッカー広場のコンセプト

駒場サブグラウンドを利用して、地元の小学生達に、サッカーをして遊ぶ機会を平日にも提供することを目的として、2002年の夏から、浦和スポーツクラブ・サッカー広場を始めました。少年団に入っている子も、入っていない子も、放課後に外で遊ぶ機会がなかなかできない最近の小学生に、外で思い切り遊ぶ楽しさ、体を動かす楽しさ、友達と放課後に遊ぶ楽しさを知ってほしいと思い、開催しました。

広場の基本的な考え方は、次のとおりです。

『浦和スポーツクラブサッカー広場は、うまい・へたに関係なく、友達とサッカーを楽しむ場所です。ひろばの経験をとおして、いくつになっても、力量・年齢・国籍に関係なく、誰とでもサッカーを楽しめるようになってほしい』

- ・広場では、コーチの技をみたり、自分で工夫して試したりすることが大前提です。
- ・サッカー教室ではないので、無理に「こうやれ、あ～やれ」とはけっして言ったり細かい指導をしないください。
- ・「こうやった方がうまくいくのじゃない？」といったようなアドバイスはしてあげてください。アドバイスは必要ですが、考えを押し付けるのはいけません。
- ・失敗してもおこらない。自由にやれるからこそ、上達することもあるはずです。そこを大切にしてください。
- ・この広場では、「遊びながら」ということを大切にします。
- ・サッカー広場は友達とサッカーで楽しく遊ぶための場所です。コーチたちは、「勝ち負けにこだわって、仲間に文句をいったりしないように、励ましながら助け合いながらやるように」ゲームの前や後に、繰り返し伝えていくように心がけてください。そういった中で友達を思いやる心、協調していく心を育むことも狙いの一つです。
- ・広場では、チームとしての戦術やポジションごとの指導や技術レベルなどにあわせた練習はしません。
- ・幼稚園生については、ボールを使って楽しく体を動かすことを目的にしているので、サッカーの技術的なことは特に指導をしません。
- ・学校の朝礼みたいに、並ばせて号令をかけてというやり方はしません。自然に挨拶ができる広場を作っていくために、指導者からは子供たちや保護者に対し積極的に挨拶の声をかけてください。
- ・人数調整やその他でコーチがゲームに入るのはかまいませんが、下手な子に意図的にボールをまわしたりというゲームのコントロールはしないでください。
- ・コーチたちがサッカーを好きになってもらおうとしすぎて、子供をサッカーに縛り付けてはいけません。下手な子はパスが回ってこない挫折体験をして学ぶこともあります。他で輝くかもしれないのだから無理して縛り付けないようにします。子供たちが求めることが必要であり、コーチから強制的に求めるべきではないと考えてください。

サッカー広場の指導者の方々に守ってほしいこと

1. 子どもに常に目を配ってください。世話を焼きすぎることではありません。
1. 仮に手があきそうな場合でも、指導者同士で遊んでいたり、話しに興じたりしないようにしてください。プレイに加わらなくても、会場内に散らばって、外からほめたり、盛り上げたりしてください。
1. 子ども達にどンドン声をかけるようにしてください。今の子ども達は、友達同士のあいさつさえもしません。お互いに声をかけあうことに慣れさせてください。
1. 「子ども達にとって、何がいいことだろうか?」を、考え続けてください。答えはひとつではないと思います。その時々で変わることもあると思います。
1. 怪我に対する応急処置について最低限のことは確認しておいてください。応急措置の基本は、安静、冷却、圧迫、心臓より高くです。
1. 常に、子どもや親が、指導者の方々のことをみていることを忘れないでください。
1. 会費をとっていることを忘れないでください。面倒をみてやっているという気持ちは捨ててください。子どもとその親は顧客です。単に、甘やかすことが「いいこと」ではありませんが、サービスを提供している立場であることを認識してください。

(3) その他の事業について

審判・指導者の養成：会員の受験に対し、補助制度を実施。

浦和スポーツ塾の開催：年3～4回の開催

広報活動

- 1) クラブニュースの発行
- 2) HPの運営（総合型展開にふさわしいコンテンツへの改変）

クラブ会員交流プログラム

- ・クラブに所属することで、得られる喜びを高めるために、クラブ会員交流事業を実施します。
- ・現会員がより楽しいクラブライフを送れるようになること、新たに入りたい・・・と思ってもらえるクラブになるために必要なことを、できることから、順次実施にうつしていきます。

社会貢献事業：サッカー用品の寄付などのボランティア事業

その他

- ・各種会議、シンポジウムなどへの参加
- ・その他

(4) クラブ組織の強化

活動の多様化にともない、想定していなかった作業なども発生し、事務局のアルバイトの皆さんに負荷が集中してしまいました。

練習の有無他に関する連絡の不徹底、グランド手配におけるミスなども発生し、クラブ会員の方ならびに関係者に迷惑をかけてしまうこともありました。

2005年度事業では、常任指導者の配置に資源を優先的に振り分けていますが、それにみあった指導スタッフの役割を整理し、期待していくとともに、今後は運営・管理機能の強化も進めていく必要があり、以下のような事項について順次検討、整備していくこととします。

- ・ 運営、管理作業の整理と分担（有給スタッフの業務範囲の明確化なども含む）
- ・ 物品購入などの判断を誰がどの時点で行うか
- ・ 活動施設、拠点確保のための検討、渉外
- ・ 総合型SCにむけた組織づくり
- ・ 社員（正会員）の参加の推進
- ・ 組織規定等の整備（情報管理、職務他）
- ・ リスク管理整備（情報管理、安全管理）

4 . 2005 年度予算 (案)(2005 年 4 月 1 日 ~ 2006 年 3 月 31 日): 採決事項

科 目	金 額		
I 収入の部			
1 会費、入会金収入			
正会員会費収入	¥ 450,000		
" 入会金収入	¥ 6,000		
賛助会員 (個人)	¥ 150,000		
賛助会費 (法人)	¥ 300,000	¥ 906,000	
2 事業収入			
普及事業 (サッカー)	¥ 11,740,000		
育成事業 (サッカー)	¥ 4,476,000		
生涯振興 (サッカー)	¥ 3,960,000		
総合型展開事業	¥ 8,973,000	¥ 29,149,000	
3 補助金等収入	¥ 2,753,680	¥ 2,753,680	
4 雑収入	¥ 80,000	¥ 80,000	
当期収入合計 (A)			¥ 32,888,680
前期繰越残高			¥ 4,325,401
収入合計 (B)			¥ 37,214,081
II 支出の部			
1 事業費			
普及事業 (サッカー)	¥ 7,896,600		
育成事業 (サッカー)	¥ 7,307,000		
生涯振興 (サッカー)	¥ 1,477,000		
総合型展開事業	¥ 6,629,440	¥ 23,310,040	
2 管理費			
事務人件費	¥ 2,792,000		
通信・役務費	¥ 2,077,920		
印刷・事務消耗品	¥ 460,000		
施設・車両費	¥ 1,842,884		
その他	¥ 546,000	¥ 7,718,804	
3 予備費			
当期支出合計 (C)			¥ 31,028,844
当期収支差額 (A) - (C)			¥ 1,859,836
次期繰越収支差額 (B) -			¥ 6,185,237

(参考：前年度決算との比較)

科 目	金 額		
	2005予算	2004決算	比較
I 収入の部			
1 会費、入金収入			
正会員会費収入	¥ 450,000	¥ 410,000	¥ 40,000
" 入金収入	¥ 6,000	¥ 78,000	¥ -72,000
賛助会員 (個人)	¥ 150,000	¥ 190,000	¥ -40,000
賛助会費 (法人)	¥ 300,000	¥ 280,000	¥ 20,000
2 事業収入			
普及事業 (サッカー)	¥ 11,740,000	¥ 9,811,680	¥ 1,928,320
育成事業 (サッカー)	¥ 4,476,000	¥ 3,658,500	¥ 817,500
生涯振興 (サッカー)	¥ 3,960,000	¥ 4,017,370	¥ -57,370
総合型展開事業	¥ 8,973,000	¥ 1,955,300	¥ 7,017,700
3 補助金収入等	¥ 2,753,680	¥ 2,280,000	¥ 473,680
4 雑収入等	¥ 80,000	¥ 164,564	¥ -84,564
当期収入合計 (A)	¥ 32,888,680	¥ 22,845,414	¥ 10,043,266
前期繰越残高	¥ 4,325,401	¥ 2,105,402	¥ 2,219,999
収入合計 (B)	¥ 37,214,081	¥ 24,950,816	¥ 12,263,265
II 支出の部			
1 事業費			
普及事業 (サッカー)	¥ 7,896,600	¥ 6,458,645	¥ 1,437,955
育成事業 (サッカー)	¥ 7,307,000	¥ 5,253,960	¥ 2,053,040
生涯振興 (サッカー)	¥ 1,477,000	¥ 1,219,883	¥ 257,117
総合型展開事業	¥ 6,629,440	¥ 2,366,589	¥ 4,262,851
2 管理費			
事務人件費	¥ 2,792,000	¥ 1,281,800	¥ 1,510,200
通信・役務費	¥ 2,077,920	¥ 1,220,774	¥ 857,146
印刷・事務消耗品	¥ 460,000	¥ 658,899	¥ -198,899
施設・車両費	¥ 1,842,884	¥ 1,621,172	¥ 221,712
その他	¥ 546,000	¥ 544,053	¥ 1,947
3 予備費			
当期支出合計 (C)	¥ 31,028,844	¥ 20,625,775	¥ 10,403,069
当期収支差額 (A) - (C)	¥ 1,859,836	¥ 2,219,639	¥ -359,803
次期繰越収支差額 (B) -	¥ 6,185,237	¥ 4,325,041	¥ 1,860,196

(参考：2005年予算事業部門別収支)

	直接収支	管理費按分	部門収支
普及事業 (サッカー)	¥ 3,843,400	¥ 3,831,536	¥ 11,864
育成事業 (サッカー)	¥ -2,831,000	¥ 654,844	¥ -3,485,844
生涯振興 (サッカー)	¥ 2,483,000	¥ 362,254	¥ 2,120,746
総合型展開事業	¥ 2,343,560	¥ 2,870,169	¥ -526,609

*管理費は、クラブ会員数で按分した

5 . 理事改選 (採決事項)

(役 員)

第13条 本法人に以下の役員を置く。

- (1) 理 事 8人以上15人以内
- (2) 監 事 1人または2人
 - 2 理事のうち、1人を理事長、3人を副理事長とする。
 - 3 役員のうちには、それぞれの役員についてその配偶者若しくは3親等以内の親族が1人を超えて含まれ、又は当該役員並びにその配偶者及び3親等以内の親族が役員の総数の3分の1を超えて含まれることになってはならない。
 - 4 監事は、理事又はこの法人の職員を兼ねることはできない。

(理 事)

第16条 理事は総会において正会員から選任する。

- 2 理事は、会務を執行する。

(役員 の 任 期)

第19条 本法人の役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠による役員任期は、前任の残任期間とする。
- 3 役員は、その任期満了後も後任者が就任するまではその職務を行うものとする。

(付 則)

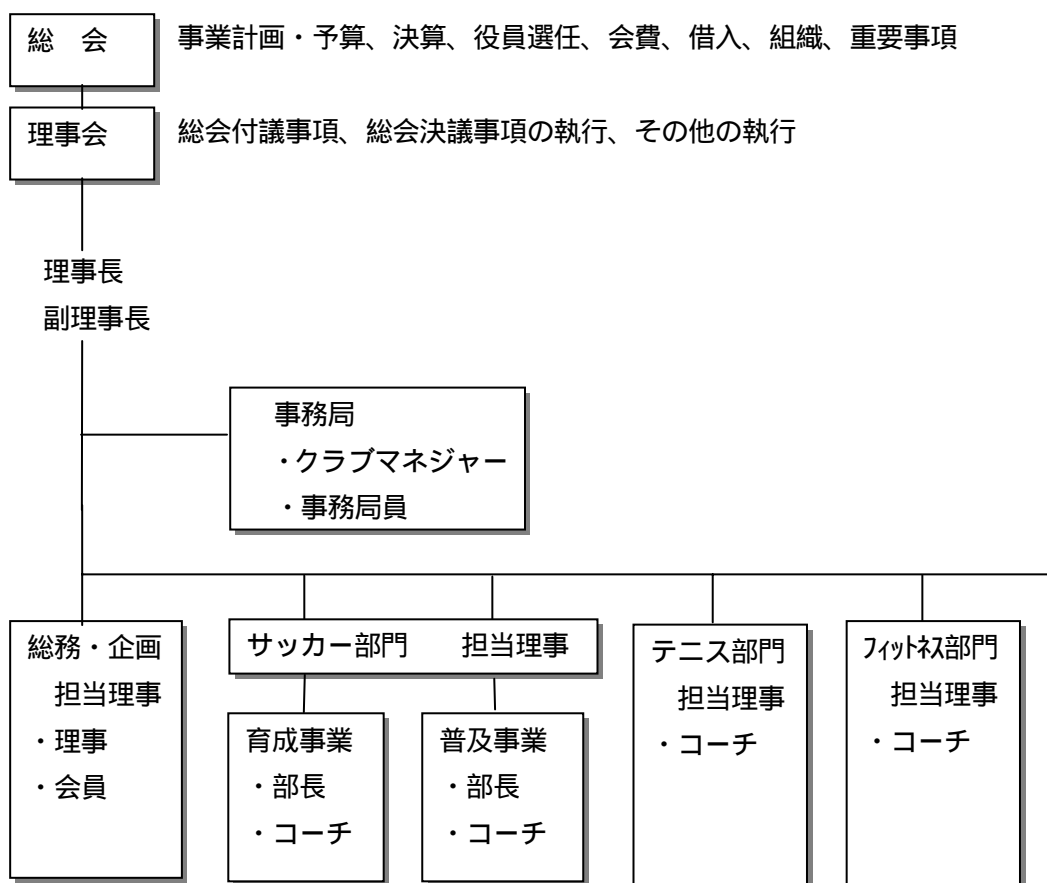
- 3 この法人の設立当初の役員任期は、この定款の規定に関わらず、成立の日から2005年5月31日までとする。

	現役員：03年11月～05年5月		新役員案：05年6月～07年5月
理事	倉持守三郎 (理事長)	継続	倉持守三郎
"	戸苅 晴彦 (副理事長)	"	戸苅 晴彦
"	塩野 潔 (副理事長)	"	塩野 潔
"	青木 宏至 (サッカー普及指導者)	"	青木 宏至 (サッカー普及指導者)
"	金子 文明 (サッカー生涯)	"	金子 文明 (サッカー生涯)
"	池森 俊文 (サッカー生涯)	"	池森 俊文 (サッカー生涯)
"	金沢 珠樹 (サッカー生涯)	退任	
"	大村 哲哉 (サッカー生涯)	継続	大村 哲哉 (サッカー生涯)
"	小野崎研郎 (サッカー生涯 / 副理事長)	"	小野崎研郎 (サッカー生涯)
"	土橋 則久 (サッカー生涯)	"	土橋 則久 (サッカー生涯)
"	石井 亮二 (サッカー生涯)	"	石井 亮二 (サッカー生涯)
"	伊沢 浩助 (サッカー育成)	"	伊沢 浩助 (サッカー育成)
		新任	萩原 紀男 (テニス)
		"	山田 結美 (エアロビクス)
		"	清水 恵二 (サッカー生涯)
監事	三戸 一嘉	継続	三戸 一嘉
"	宮原 正弘	継続	宮原 正弘

(参考：地域クラブにむけた将来の組織構成の考え方)

多種目の展開を図る中で、各種目の充実を図るために、以下のような組織構成を検討していくもの
とします。

また、理事会を構成する理事は、将来的には、ある程度の割合の人数については、正会員の中で持
ちまわりとしていくことが望ましいと考えています。



< 担当理事 >

- ・正会員がなる
- ・担当理事の職務は無償とする
- ・各部門の指導者等を統括する
- ・クラブ会員の声などを参考にし、活動内容など全般を統括する
- ・部門の運営管理（物品購入等）について判断する（小額であれば部門決済、高額が理事会審議）

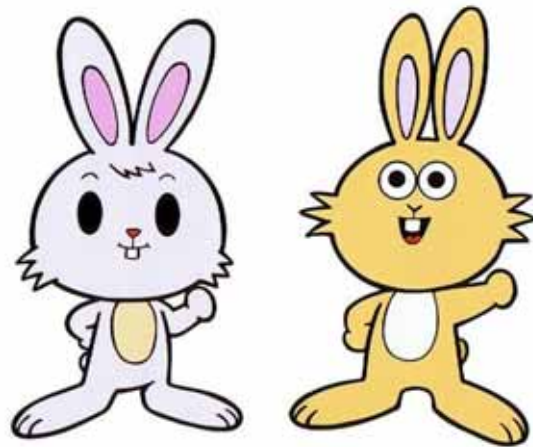
6. 理事長専決事項について：採決事項

/

「理事長専決事項委任を求める件」(案)

平成17年度中において、新たに会員に負担義務のない場合の予算の追加更正について、理事会に図り、理事長がこれを専決処分することができることを承認願います。

ただし、専決事項は次回総会に報告いたします。



2005.5.29 作成

NPO法人 浦和スポーツクラブ

(事務所) 〒330-0072 さいたま市浦和区領家5 - 1 - 1

電話 048 - 887 - 7140

FAX 048 - 679 - 1063

e-mail urasupo@jcom.home.ne.jp

HP-URL <http://members3.jcom.home.ne.jp/urasupo/>